



# 感染症対策の手引き



## 目次

### 1. はじめに

本資料の立ち位置と使い方	2
行うべき感染症対策	2
委員会からのサポート	2

### 2. 企画内容別の感染症対策

屋内企画	3
▪ 展示を行う企画	
▪ 講演会・討論会を行う企画	
▪ 相談会を行う企画	
▪ 楽器演奏を行う企画	
▪ バンド演奏を行う企画	
▪ 歌唱を行う企画	
▪ パフォーマンスを行う企画	
屋外企画	5
▪ 楽器演奏を行う企画	
▪ 歌唱を行う企画	
▪ パフォーマンスを行う企画	
▪ 「行列」を行う企画	
ステージ企画・劇場企画	7
▪ バンド演奏を行う企画	
構外企画	7

### 3. 参考資料

駒場祭の準備における注意事項	8
共通方針（参考資料）	8
▪ 感染症対策の基本方針	
▪ 3密の防止	
▪ 飛沫感染・接触感染の防止	
▪ その他の対応方針	

# 1.はじめに

## 本資料の立ち位置と使い方

- 『感染症対策の手引き』（以下、本資料とします）には企画内容の大まかな分類に応じて、感染防止に最大限留意しながら企画を問題なく実行するための方法を記載しています。
- 本資料の内容は、委員会が原案を作成のうえ、大学と調整を行い確定したものです。
- 実行する企画内容に応じて、本資料の必要箇所を確認のうえ、行う感染症対策を決定してください。
  - » 記載されていない企画内容については、企画形態ごとの共通の対策などを参考に、行う感染症対策を決定してください。
- 感染症対策の概要は『[Almighty vol. 2](#)』の「[新型コロナウイルス感染症対策](#)」にも記載しています。あわせて確認してください。
- 本資料の記載および『[Almighty vol. 2](#)』の内容をもとに、行う感染症対策を「[1] 屋内企画（屋外企画/ステージ企画/劇場企画/構外企画）詳細登録」でできる限り詳しく登録してください。

## 行うべき感染症対策

- 企画内容に応じて本資料に掲載している感染症対策は、基本的にすべて行ってください。
  - » 企画実行への支障が大きい場合、十分な感染症対策を行ったうえで、企画ごとに制限内容を一部緩和することがあります。
- 特に**マスクを着用すること、企画構成員同士が2メートル以上の距離を保つことを徹底してください。**
- **マスクの着用ができない、もしくは企画構成員同士が2メートル以上の距離を保つことができない企画は大学との調整が必要になりますので、その他の感染症対策を十分に検討してください。**
  - » 本資料で最低でも1メートル以上の距離の確保を規定している企画は、やむを得ず2メートル以上の距離を確保できない場合も企画実行を許可します。
- 感染症対策が不十分である場合には、委員会から後日「問い合わせ」にて感染症対策の強化または企画内容の変更を求めることがあります。

## 委員会からのサポート

- 事前に申請していただいた感染症対策を確認し、感染症対策が十分になるように調整します。
- 感染リスクの高い企画内容について、実行可能な感染症対策を提示することで感染リスクを最小限にするとともに、大学と調整します。
  - » 感染リスクの高い企画内容の実行にあたっては大学からの許可が必要になります。大学との調整は一括して委員会が行いますので、**直接大学に問い合わせないでください。**
- 感染症対策に必要な物品のレンタル・販売の仲介を行います。
  - » 委員会を通じてフェイスシールドやビニールシートなどを購入できます。詳しくは、『[Almighty vol. 2](#)』の「[物品の調達・援助に関する申請・申込](#)」を参照してください。

## 2. 企画内容別の感染症対策

本章では企画内容の大まかな分類に応じて感染症対策をまとめています。企画内容に応じて必要な箇所を参照のうえ、行う感染症対策を決定してください。

### 屋内企画

屋内企画は共通して以下の感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容に応じた感染症対策を行ってください。

- 屋内の教室は常時窓やドアを一部開放し、換気を行ってください。また、機械換気の設備を十分に活用してください。
  - » 音漏れなど窓やドアを常時開放することによって周囲で企画を実行する妨げになる場合には、1時間に1回以上、すべての窓や部屋のドアを10分以上開放することで換気を行ってください。
- 企画場所に入室する際には、手指のアルコール消毒を行ってください。
  - » 駒場祭当日、各企画に委員会から消毒用アルコールを配布する予定です。
- 企画場所および控室は、利用後に液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒してください。
  - » 特に、机や電気のスイッチ、ドアノブ、マイクなど、企画構成員の触れる頻度が高いと思われる箇所については、そのような場所を最大限減らしたうえで消毒してください。
  - » 消毒の際に注意するポイントをまとめた「消毒リスト」を第3回企画代表者会議にて配布する予定です。

### 展示を行う企画

- 企画構成員同士の距離を2メートル以上保ってください。
- 企画構成員は常時マスクを着用してください。
- 展示物などの接触感染のリスクに繋がりやすい箇所については、可能な限り接触頻度を抑えるとともにこまめに消毒してください。

### 講演会・討論会を行う企画

- 登壇者は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、フェイスシールドを着用してください。
- 登壇者同士の距離を2メートル以上保ってください。
  - » 企画内容もしくは配信の都合で、一定の時間以上登壇者同士の距離を2メートル以上保つことが困難な場合には、ビニールシートの設置などにより飛沫防止を徹底してください。

## 相談会を行う企画

受験相談会などをZoomなどで行う企画を想定しています。

- 企画構成員同士の距離を最低でも1メートル以上保ってください。企画構成員同士が向かい合う形で行う場合は、距離を2メートル以上保ってください。  
※ 企画構成員が一定の時間向かい合い、かつ2メートル以上の距離の確保が困難な場合には、フェイスシールドの着用またはパーテーションの設置などにより飛沫防止を徹底してください。
- 企画構成員は常時マスクを着用してください。

## 楽器演奏を行う企画

- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離を最低でも1メートル以上保ってください。また、近距離で向かい合う形での演奏は避けてください。
  - » ただし、企画構成員が発言を行わないことを前提とします。発言をする際には距離を2メートル以上保つとともに、マスクを着用してください。
  - ※ 上記の感染症対策のうちいずれかが難しい場合には、ビニールシートの設置などにより飛沫防止を徹底してください。
- 指揮者がおり、演奏者の企画構成員と距離を2メートル以上確保することが困難な場合には、指揮者と演奏者との間にビニールシートを設置して飛沫防止を徹底してください。
  - » 左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションまたはビニールシートを指揮者の前に設置してください。

## バンド演奏を行う企画

- 発声練習など準備段階においては常時マスクを着用してください。
- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離を2メートル以上保ってください。
  - » 舞台のスペースの都合上、企画構成員同士の横方向の距離を2メートル以上保つ余裕がない場合には例外的に横方向の距離を最低1メートルまで短縮しても構いません。

## 歌唱を行う企画

- 発声練習など準備段階においては常時マスクを着用してください。
- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員はマスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離を2メートル以上保ってください。
  - » 舞台のスペースの都合上、企画構成員同士の横方向の距離を2メートル以上保つ余裕がない場合には例外的に横方向の距離を最低1メートルまで短縮しても構いません。
- 2列以上に並んで歌唱を行う場合には、後ろの歌唱者の飛沫の影響を受けないように、前の歌唱者は、後ろの歌唱者に対して斜め前に立ってください。
  - ※ 結果として、歌唱者は市松模様状の配置となります。
- 指揮者がおり、演奏者の企画構成員と距離を2メートル以上確保することが困難な場合には、指揮者と演奏者との間にビニールシートを設置して飛沫防止を徹底してください。
  - » 左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションまたはビニールシートを指揮者の前に設置してください。

## パフォーマンスを行う企画

- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離は基本的に最低でも1メートル以上（可能な限り2メートル以上）保ってください。
  - » 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。

## 屋外企画

屋外企画は共通して以下の感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容に応じた感染症対策を行ってください。

- 割り当てられた企画場所をできるだけ広く使うことで3密を防いでください。
- 企画場所は、利用後に液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒してください。
  - » 特に、机やマイクなど、企画構成員の触れる頻度が高いと思われる箇所については、そのような場所を最大限減らしたうえで消毒してください。

## 楽器演奏を行う企画

- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離を最低でも1メートル以上保ってください。また、近距離で向かい合う形での演奏は避けてください。
  - » ただし、企画構成員が発言を行わないことを前提とします。発言をする際には距離を2メートル以上保つとともに、マスクを着用してください。
- ※ 上記の感染症対策のうちいずれかが難しい場合には、ビニールシートの設置などにより飛沫防止を徹底してください。
- テント内は機材置き場としての利用を中心とし、積極的にテント外のスペースを利用することで企画構成員同士の距離を確保することを推奨します。

## 歌唱を行う企画

- 発声練習など準備段階においては常時マスクを着用してください。
- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離を2メートル以上保ってください。
  - » 舞台のスペースの都合上、企画構成員同士の距離を横方向で2メートル以上保つ余裕がない場合には例外的に横方向の距離を最低1メートルまで短縮しても構いません。
- 2列以上に並んで歌唱を行う場合には、後ろの歌唱者の飛沫の影響を受けないように、前の歌唱者は、後ろの歌唱者に対して斜め前に立ってください。
  - ※ 結果として、歌唱者は市松模様状の配置となります。

## パフォーマンスを行う企画

- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離は基本的に最低でも1メートル以上(可能な限り2メートル以上)保ってください。
  - » 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。



## 「行列」を行う企画

- 演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
- 企画構成員同士の距離は基本的に最低でも1メートル以上（可能な限り2メートル以上）保ってください。
  - » 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。

## ステージ企画・劇場企画

ステージ企画・劇場企画は共通して以下の感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容に応じた感染症対策を行ってください。

- 企画構成員同士の距離は基本的に2メートル以上保ってください。
  - » 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。
- 演奏や演出において支障がない場合、企画構成員は常時マスクを着用してください。
  - » 企画内容の都合でマスクの着用が困難な場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用してください。
  - ※ 万が一フェイスシールドを着用できない場合には、企画内容の詳細を確認して感染のリスクを考慮しつつマスク類の着用を免除する可能性があります。
- 指揮者がおり、演奏者の企画構成員と距離を2メートル以上確保することが困難な場合には、指揮者と演奏者との間にビニールシートを設置して飛沫防止を徹底してください。
  - » 左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションまたはビニールシートを指揮者の前に設置してください。

## バンド演奏を行う企画

- 発声練習など準備段階においては常時マスクを着用してください。
- 各企画が共通して使用するバンド機材については、企画の交代ごとに消毒を行ってください。

## 構外企画

企画内容に応じて本資料を参考に感染症対策を行ってください。加えて、以下の2点を遵守してください。

- 外部の施設を利用する場合には、その施設の利用条件を遵守してください。
- 事前に録画した映像を公開する場合も、撮影時期に応じて適切な感染症対策を行ってください。

## 3. 参考資料

### 駒場祭の準備における注意事項

企画出展の準備のための活動における感染症対策についての申請は不要ですが、気をつけていただきたい対策を記載します。

- 屋内で集まって準備・練習を行う際には、換気を十分に行ってください。
  - » 具体的には、屋内の部屋は基本的に窓やドアを少しだけ開けて常時換気を確保することで、室温変化を抑えつつ十分な換気量を確保します。また、機械換気の設備を十分に活用します。
- 1人でできる準備・練習などは、できるだけ集まらずに、企画構成員の自宅や近所の公園などで行ってください。
- 準備・練習に際して集まる必要がある場合は、必要最低限の人数で準備・練習を行ってください。
- 準備・練習中の会話は最低限としてください。
- 特に集合して準備や練習を行う場合には、演奏などでマスクを着用することが困難な場合を除き、必ずマスクを着用するようにしてください。
- 手洗い・消毒を十分に行ってください。
- 練習や準備にあたり、外部の施設を利用する場合には、その施設の利用の条件を遵守してください。
- 健康状態を保ち、繁華街などの感染リスクの高い場所にはできるだけ行かないようにしてください。また、準備・練習にあたって、発熱の症状があるなど、新型コロナウイルスの感染の可能性が少しでもある場合や、新型コロナウイルスの感染者もしくはその疑いがある者との濃厚接触が疑われる場合には、自宅で待機するようにしてください。

### 共通方針

- 本資料の策定にあたっての基本方針を掲載します。
- 全体の方針として、外部団体のガイドラインや研究成果をもとに、集団感染(クラスター)の発生のリスクが高いと考えられる、「密閉」(換気の悪い密閉空間である)、「密集」(多くの人が密集している)、「密接」(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件(いわゆる「3密」)が起こる環境の発生を極力防止することを目指します。
- 同時に、現在の感染経路として想定されている「飛沫感染」および「接触感染」のリスクを回避し、感染経路を断つことを目指します。



## 感染症対策の基本方針

- 行政機関ならびに東京大学の定める方針を遵守しつつ、企画の形態や規模、施設の特性を踏まえて最大限の感染症対策を行います。
- 基本方針として、公的な団体の策定したガイドラインをもとに、集団感染（クラスター）の発生リスクが高いと考えられる、「密閉」（換気の悪い密閉空間である）・「密集」（多くの人が密集している）・「密接」（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（いわゆる「3密」）が起こる環境の発生を極力防止します。
- 現在感染経路として考えられている「飛沫感染」・「接触感染」のリスクを十分に抑止し、感染経路を最大限断ちます。

## 3密の防止

### 「密閉」の防止

- 公的機関の発表するガイドラインを参考に換気を十分に行います。
  - » 具体的には、屋内の教室は基本的に窓やドアを少しだけ開けて常時換気を確保することで、室温変化を抑えつつ十分な換気量を確保します。
- 音漏れなど窓やドアを常時開放することによって周囲で企画を実行する妨げになる場合には、1時間に1回以上、すべての窓や部屋のドアを10分以上開放することで換気を行います。また、機械換気の設定を十分に活用します。
- 雨天の場合には、企画場所ごとに機械換気的能力を勘案した上で企画実行に支障のない範囲で最大限の換気を行います。

### 「密集」の防止

- 企画の形態や規模、施設の特性を踏まえて、企画場所における滞在人数の制限を行います。
- 企画構成員同士の距離を最低でも1メートル以上（可能な限り2メートル以上）確保した状態で企画を実行します。
- 歌唱を行う場合など飛沫が懸念される企画の場合は、企画構成員同士の距離を2メートル以上確保します。
- パフォーマンス中の隊形移動やステージ上の企画の交代などのため、一時的に1メートルの距離を確保することが困難な場合は、その時間をできるだけ短くするよう企画内容を調整するとともに当該時間中の発言を控えます。

### 「密接」の防止

- 屋内などで位置を固定してパフォーマンスを行う企画のうち、2メートル以上の距離の確保やマスクの着用により企画実行が著しく困難になる場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用します。

## 飛沫感染・接触感染の防止

### 飛沫感染の防止

- 原則として、企画構成員全員がマスクを着用します。
- マスクの着用により企画実行が著しく困難になる場合には、企画構成員はフェイスシールドを着用します。
- フェイスシールドの着用も困難な企画については、マスクを外す時間が最小限になるよう企画内容を調整します。

### 接触感染の防止

- 手洗いおよび消毒を十分に行います。
- 各施設の入口に消毒液を設置するとともに、動線管理のため、必要に応じて出入口を制限します。
- 各企画が利用する企画場所はこまめに消毒します。
  - » 特に机や電気のスイッチ、ドアノブ、マイクなど、企画構成員の触れる頻度が高いと思われる箇所については、そのような箇所を最大限減らしたうえで消毒を徹底します。
  - » 企画場所の利用後は、特に注意して消毒を行います。
- 消毒は、留意点を示したチェックリストを作成のうえ企画に配布し、消毒の徹底を図るとともに、企画構成員の触れる頻度が高い箇所を重点的に行います。
- マスクなど感染リスクの高いごみについては、ごみ袋を二重にしたうえでしっかり縛って封をし、処理の際は適切な対策を行ったうえで委員会が回収します。

## その他の対応方針

- 企画責任者は、各企画における感染症対策の遂行の責任を負い、適切に対策を実行します。
- 感染症対策が確実に遂行されるようにするため、委員による巡回を強化します。
- 万が一、企画公開中に企画構成員に感染の疑いが生じた場合には、当該企画の停止・中止および企画実行に利用された教室の封鎖などを行い、感染拡大防止に努めます。
- 公的機関が推奨する新たな感染症対策の方法が発表された場合は、東京大学との協議のうえ、適切に対応します。

# 感染症対策の手引き

---

2021年9月3日(金) 発行

第72期駒場祭委員会

東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学構内キャンパスプラザA棟103号室

Tel : 03-5454-4349      Fax : 03-3466-1865

E-mail : [committee@komabasai.net](mailto:committee@komabasai.net)